

スクール・ミッション

豊かな人格形成を目的とし、その実現のため、一般及び専門にわたる基本的教養を身に付けることを教育目標とし、地域の教育力を生かした進路活動や、ものづくり教室等で学んだ技術・技能を生かす機会を通じて、真理を愛し、責任を重んずる地域に貢献する技術者を育成します。

スクール・ポリシー

1 グラデュエーション・ポリシー

- ①基礎的・基本的な実験・実習を通して体験的に理解させ、工業技能・技術の習得。
- ②職業資格、検定・発表会に積極的に挑戦し、卒業までに3資格以上取得。
- ③全教科・科目において環境教育に取り組み、身の回りの環境整備を推進し美化意識を醸成。

2 カリキュラム・ポリシー

- ①生徒の実態に応じた授業を展開し、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ②実験・実習を通して、「ものづくり教育」を推進し、積極的に技術・技能を身に付けさせる。
- ③全学年でキャリア教育を推進し、企業と連携しながら実践的な技能・技術を身に付けさせる。

3 アドミッション・ポリシー

- ①機械・電子・建築の分野に興味・関心をもち、ものづくりの技術・技能を身に付けたい生徒。
- ②身に付けた技術・技能を将来に生かしたい生徒。
- ③資格取得・検定試験にチャレンジする生徒。
- ④積極的に企業での就業体験に参加する生徒。
- ⑤部活動や生徒会活動を3年間続ける意思があり、学校行事に積極的に取り組む意欲のある生徒。

●教育目標

1 教育目標

- ①知性を高め、真理と自由を愛する精神を養う。
- ②自ら学び、自己を高めて自信を持って生きることのできる力を身に付けさせる。
- ③互いの個性を尊重し、思いやりと規範意識のある人間を育成する。
- ④心身を鍛え、健康で責任感のある人間を育成する。

2 指導の重点

(1) 各教科・科目の指導

- ①学力スタンダードや技能スタンダードに基づいた授業を行うことから、基礎・基本の定着を図り、分かる授業を展開し、学力向上の取り組みを行う。また、体力テストの結果を用い、生徒の体力向上に向けた指導法の改善を図るとともに、オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを継承する。
- ②異文化理解や環境問題、道徳教育の取り組みとして長期休業中に読書活動を推進する。その中から豊かなコミュニケーション能力を育成することで、言語活動の充実を図る。
- ③ 社会の一員としての自覚を高めるために主権者教育を現代社会の授業などで実施する。
- ④ 「人間と社会」では、教科書や体験活動に基づく指導から様々な立場の人の考えを理解し、良い点や課題を発見する力、また自分の果たすべき役割を踏まえて、よりよい生き方を選択するために物事を判断することができる力を身に付けさせる。
- ⑤生徒による授業評価の結果を生かし、授業の振り返りをする時間を設け、生徒の理解度を把握するとともに、机間指導を通して、つまづきのある生徒を支援するなどして授業改善に努める。
- ⑥ 数学Ⅰ(1年)、数学Ⅱ(2・3年)、英語コミュニケーションⅠ(1・2年)においては習熟度別授業を実施し、家庭総合(2年)や各科工業技術基礎(1年)、工業情報数理(1年)、製図(1～3年)、実習(1～3年)、課題研究(3年)においては、少人数制授業を実施することで、きめ細やかな指導をおこなう。

(2)特別活動の指導

- ①共通の目標やルールのもとで互いに自律心や切磋琢磨する心を育む。また、豊かな人生を送るための基礎的な知識を身につけさせるとともに、在学中に様々な経験を多く積ませ、ボランティア活動などを通して、社会に貢献する態度を養う。
- ②生徒会活動、委員会活動の活性化を図り、生徒自ら行事運営できる能力を培う。
- ③部活動の活性化を図り、帰属意識を熟成させる。
- ④学校2020レガシー実現に向けて、地域行事でのボランティア活動(ボランティアマインド育成)の取り組みを推進する。
- ⑤特別活動については、学習指導要領によって実施する。

(3)生活指導

- ①ホームルーム活動や部活動、生徒会活動の実践により、心身の健康を図るとともに、道德教育を通じて規範意識を醸成する。また、公共のマナーを守り基本的な生活習慣を身に付けさせるため、身だしなみ指導や時間を守る事の重要性を重点的に指導する。また、外部の関係機関と連携して、防災教育や薬物乱用防止に対する指導を充実させる。
- ②全教職員でいじめ防止や自殺防止の徹底を図るため、SOSの出し方に関する教育を推進するとともに、スクールカウンセラーを一層活用し、教育相談機能を高める。また、教職員の情報共有を図るとともに、家庭との連絡を密にするなど、指導の充実を図る。
- ③命の安全教育については、自分と相手を守る「距離感」を学び、被害者と加害者を生まないように啓発教育を推進する。

(4)進路指導

- ①教育活動全体を通して全教職員でキャリア教育に取り組み、「真理を愛し、勤労を尊び、責任を重んじる」教育を実現させ、自己実現と視野を広めさせることにより、よりよい進路実現・自己実現を目指す。
- ②卒業生や外部講師による講演会を1学年より実施し、卒業後の在り方・生き方を十分に考えさせる。
- ③地域等の外部施設の見学および就業体験を推進し、実践的な知識を高める。

(5)総合的な探求の時間

3学年での課題研究(3単位)を通し、自己の専門性を活かしながら学び方・考える力を高め、創造的に問題を解決できる能力を育成し、自己の在り方・生き方を発見させる。まとめとして、3学期にプレゼンテーションソフト等を活用した課題研究発表会を実施する。

3 教育目標達成のための特色ある教育活動等

(1)教育目標達成のための特色ある教育活動

- ①教育の活性化を図るため、地域の教育力や外部の専門家を活用し、授業や進路ガイダンス等を通して、社会性や勤労観・職業観を育成する。
- ②専門高校として、生徒が学んだ技術・技能を生かす機会を多く与え、自信や誇りをもたせるため、生徒による体験入学、近隣の小・中学校生を対象としたものづくり教室、各種技能検定・技術競技会、地域と連携したボランティア活動を推進する。
- ③技術・技能のスキルアップや資格取得、技能検定、進学・就職に有効な選択講座を一層充実させ、就職・進学率100%を目指す。
- ④地域行事の企画の一員として、生徒会・委員会を中心に運営スタッフとして関わり多数の生徒がイベントに参加する。

(2)学校週5日制への対応

- ①行事の精選等を一層進め、授業時数を確保する。
- ②週休日等を利用し、保護者会・体験入学・学校説明会・入試説明会等を実施するとともに、地域の行事等に参加し、地域社会に貢献する態度を養う。